

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	バロール キュマイラ		ワークス	UGN	エージェントA	カヴァー	
	オプション		年齢	20		性別	女
覚醒	憤怒	衝動	破壊		初期侵食率	33	%
出自			経験			邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	3	1	1			5	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	1			3	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	4		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ナイフ					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
マザーハーロッド	P 好奇心	N 嫌気			
P5	P 親近感	N 不快感			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	8	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
因果歪曲	3	3	メジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果:	組み合わせたエフェクトの対象を範囲(選択)に変更。1シナリオLv回まで							
漆黒の拳	4	3	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果:	組み合わせた攻撃の攻撃力を+Lv、対象の装甲値を無視							
瞬速の刃	3	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	組み合わせた判定のダイスを+ [Lv×1]							
獣の力	4	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果:	組み合わせた白兵攻撃の攻撃力を+ [Lv×2]							
一角鬼	4	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	素手に角状の突起を生やし武器にする【攻撃力+ [Lv+5]、ガード値2、射程5m】							
獣の殺意	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	このエフェクトに対するドッジ判定のダイス-Lv個							
獣の王	1	4	メジャー	武器	単体	対決	100↑	
効果:								
偏差把握	★	-	メジャー	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果:	自身の周りにある全てのものがどこにあって、どう動くのか認識できる。隠れてるものを見つかる場合は【知覚】による判定を行う							
吸着	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	重力操作によって、手に持っているすべての物体を落ちないようにする。(髪も服の裾も) 戦闘中は効果を持たない							
獣の直感	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	天候や地震などを予測する。							
猫の瞳	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	シーンの間、暗闇を見通す事ができる							
効果:								
効果:								

【容姿、性格】
茶髪で黒目。片目を髪で隠しているがその下は若干色素が薄い目が(義眼をはめ込んで)。そして、首には包帯が巻いておりその下には手で絞められた跡がくっきり残っている。
表向きではクールでドライ。人と関わろうとは絶対にしない。話しかけられれば最低限の話はする。
戦闘になると心の奥に眠ってる破壊衝動が出てきて、目に映るすべてのモノを跡形が無くなるまで破壊を尽くすまでやめられないサイコパスとなる。表向きとは全く違い舌舌になる。

【呼び方など】
1人称→表向き私、裏向きアタシ
2人称→表向きアンタor呼び捨て、裏向きお前or貴様
3人称→表向きアンタ達、裏向きお前らor貴様ら

【過去のな】
両親は恨まれ役の仕事(なんでもいい)をしていた。その中でも彼女は両親に愛されて育てていった。しかし、幼少期に両親に恨みを持った人に両親を殺され片目を奪われ、更には手で首を絞められた(その時に出来た首絞められた跡がくっきり残っている)。その時に両親を殺された怒りでオーヴァードに覚醒。幼いながらも怒り狂いオーヴァードに覚醒した彼女が出した結論(復讐)は……
『私からすべてを奪ったあいつらを…ぜえんぶ壊しちゃう』
それからと言うものは両親を殺した人を骨も残らないまで破壊しつつ、次は犯人の関係者にも手を出そうとした所で保護された(この段階ですべてを破壊する事の快感を覚えた)。
そこで更生されてはいたのだが両親の死のショックで何も受け付けなくなっていたが、大人達の前ではいい顔しようと自分で心の仮面をつけていた。そこからは平凡に(?)暮らしていたが未だ心の奥では両親を殺した人の関係者に対する復讐を計画していたのだった……